

研究開発課題事後評価結果

事業名（年度）	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 （平成30年度～令和2年度）
研究開発課題名	糖鎖利用による革新的創薬技術開発事業
分担研究開発課題名	糖鎖抗原を創薬ターゲットとする病原性抗酸菌感染症予防および 治療法の開発
代表機関名	学校法人順天堂 順天堂大学
研究開発代表者名	岩渕 和久

【評価結果】

良い／総合的に計画した成果が得られた

【評価コメント】

好中球・マクロファージ・樹状細胞における病原性抗酸菌の貪食誘導・殺菌回避に重要な糖鎖モチーフとして、ManLAMのマンナンコア及びマンノースキャップ構造に着目し、構造因子及びそれを認識する分子の解明について成果をあげた点が評価できる。

一方で、マクロファージのモデルでは株化細胞を用いて解析されているため、プライマリーセルを用いた解析が必須である。また、病原性抗酸菌に対する抗糖鎖抗体の作製法を樹立しているが、*in vitro*での解析結果が示されているに留まっているため、*in vivo*での解析が進むことを期待する。創薬に向け、早期に特許を取得し、製薬企業と共同研究を進めることが望まれる。

以上